

キャラクター名 コルネリス・アーチボルト(Cornelius Archibald)      プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	探偵	カヴァー	
	ハヌマーン					
オプション		年齢	20	性別	男	
覚醒	命令	衝動	恐怖	初期侵食率	32%	
出自	双子	経験	喪失	邂逅	貸し	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	3	0	0			3	行動値	10
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	10
精神	2	1	3			6	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転: 四輪	2		芸術:			知識:			情報:ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インドラの矢(100↓)	RC	9r+4	0	7		範囲、装甲無視、至近不可
ゼウスの雷霆(100↑)	RC	13r+4	0	8		範囲、装甲無視、至近不可
ショックウェーブ(100↓)	RC	9r+4	0	1		単体、装甲無視
ソニックウェーブ(100↑)	RC	13r+4	0	2		単体、装甲無視

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

<b>所持品</b>						合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ: 情報屋						<b>ロイス</b>			
コネ: ハッカー						対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ タス 消費
						ルイズ・アーチボルト	P 庇護	N 不安	
						アイフェル・アーチボルト	P 幸福感	N 恐怖	
						猫川美亜	P 信頼	N 不信感	
							P	N	
							P	N	
							P	N	
							P	N	
							P	N	
						最大財産P:	4	残り財産P:	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
イオノクラフト	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	飛行状態で戦闘移動、+[LV*2]m							
振動球	1	3	メジャー	視界	-	自動	-	
効果:	攻+LV、射攻、装甲無視							
コンセントレイト:ハヌマーン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-LV(下限値7)							
雷神の鎧	4	3	メジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果:	攻+6、射攻、至近不可、シナリオLV回							
バトルビート	3	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	ダイス+LV個							
波紋の方陣	3	3	オート	視界	単体	自動	80%	
効果:	ダメージ-(LV+1)D点、ラウンド1回							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

=====

「これが今度の実験体かね」

「はい。資料では一昨年、住宅街でのジャーム襲撃事件で唯一生き残った一般人だとか」

「なるほど、例のルートからか」

「父親の負債は相当の額だったそうですよ」

「重傷を負った上、負債の解消のためにモルモットとなったか・・・だがこの実験で生まれ変わるさ」

「生きていれば・・・ですが」

「ま、そういうことだ。では始めようか」

=====

父親が多額の負債を残して蒸発。母親と双子の妹との3人暮らしであったが、幼少の頃に何者かの襲撃を受け母親は殺害され妹は行方不明に。自身も瀕死の重傷を負い生死の境を彷徨う。UGNの傘下と噂される企業"ムラクモ・ミレニアム"に回収されブラックドッグ"プラス"となるべく改造を施される。"プラス"とは通常の改造に加えてさらに人工筋肉の移植や神経の光ファイバー化を施した特別な素体である。ムラクモ・ミレニアムの目指す新しい生命体に"進化"するために"カガリマツカ"。

現在は探偵となり、行方不明の妹を探し続ける毎日。自分の家族を殺した相手に激しい憎悪を抱いているが、同時にトラウマの対象でもあるため、それを想起させるような強大な力を持つオーヴァードの前では一切